



ダウンロード  
出来ます



拡散希望

政治家・官僚・マスコミの嘘に洗脳された皆様に覚醒して頂く為の新聞です。

## Q & A で日本の現状を知ろう

※目覚めた人は確実に増えています！

- Q: 日本は今、危機的状況なの？ A: 緊縮財政・デフレを続け 30 年も経済成長せず、軍事費が日本 5 兆円、中国 25 兆円と差が開き、台湾・尖閣諸島・沖縄・北海道は中国に狙われ、国防増強しなければ危ない。中国共産党は 70 年守ってきた台湾との中間線を越え大規模軍事演習を行い、日本 EEZ 内に 5 発のミサイルを打込み、尖閣には軍艦を改造した中国海警の大型船数隻が、日本の船が近づかない様監視し、海上保安庁はその外で見守るばかり。北海道は中国人に広大な面積の土地が買われ、日本人の開拓の歴史をアイヌの偽りの歴史に塗り替え、左翼がアイヌは日本人に抑圧された先住民と偽わってロシアに助けを求め手紙を送る。対立する核保有国三カ国に囲まれ戦後最大の危機と言えます。
- Q: なぜデフレ、緊縮財政が続いているの？ A: 金貨銀貨の古い貨幣観(商品貨幣論)を持つ人が大多数で、現在のお金のしくみ(信用貨幣論)を理解する人が少数派だからです。世間に流通するお金は現物貨幣が 10%未満、90%以上が銀行預金で、政府が国債発行+財政支出で、民間が借入する事で銀行が信用創造し、新たな預金通貨を流通させています。
- Q: 財務省が国債を沢山発行したら財政破綻すると言うけど本当？ A: 嘘です。自国通貨建て国債は通貨発行権が有る為破綻しません。政府が国債を発行し民間へ財政出動すると、民間のお金が増え景気が良く成ります。実際の所、国債発行は単なる通貨発行と言えます。事実、日本政府の債務は明治以来 3740 万倍に増えていますが、何か問題があったのでしょうか？国債発行を積み重ねて来たからこそ経済成長して来たということです。国債+民間債務残高の伸びは経済成長の証しであり、通貨発行権を持つ我が国に於いて国債発行を国民の為に有効に活用する事こそ政治家の役割です。
- Q: 財務省はなぜ緊縮・増税したがるの？ A: 戦後 GHQ 占領下で二度と戦争が出来ない様に、軍隊保持と交戦権を否認した憲法 9 条と、それを担保する為国債発行を縛る財政法 4 条が作られ、国債発行を抑えてきた者が評価され昇進して来た経緯があり債務減こそ善と信じ、間違いに気づいても認めたら自分達の地位も省益も危うくなる為死守します。
- Q: 物価が高くなって今はインフレ？ A: 資源・穀物輸出国へお金が出て行くコストプッシュ型インフレです。需給ギャップを見れば未だ需要不足のデフレギャップ。減税、財政出動でギャップを埋めるのが正しい政策です。
- Q: 政府と有識者会議の提言は増税と社会保険料引上げばかりだけど大丈夫？ A: ダメです。国民の生活が苦しくなり、消費が落ち込み、景気が悪化してデフレが続き益々貧困化します。岸田財務省一族政権は増税する事しか考えません。
- Q: 経済成長し皆が豊かになるには減税と、国債発行で積極的に財政出動するしか無いのでは？ A: その通りです。国債発行で財政破綻しない以上それを使って、30 年も誤った政策を取り続け日本を衰退させ、国民を貧困に陥れ少子化を促した事を反省し、憲法前文に「福利は国民が享受する」とある様に国民が豊かになる為に働く事が、国民の代表者である政治家の使命です。これに反する行為は憲法違反であり、国民を裏切る売国奴であると言わざるを得ません。

## 次のリンク動画で真実を知ろう

超人				①	②	チャン			東京ほんま	
大陸					三橋 TV	ネル			もん教室	
	中野剛志	週刊西田	西田昌司 ch	ケルトン教授	MMT シンポジウム	闘論倒論討論	①インボイス大増税	②富国強兵		

## 私たち国民がやるべきこと → 現在のお金のしくみを理解しない日本を亡国へ導く売国議員を一掃

- I、タイムズ配達を通じて国民全員に真実を届ける。 II、売国政策を行う内閣の支持率を下げ内閣を総入れ替えさせる。(アンケート回答者の方) III、次回選挙で国会から日本を亡国へ導く売国議員を一掃する。投票してはいけない人⇒ 古い貨幣観を持つ人(財政健全化・財政出動なら増税・財源確保は税・国債は将来世代へのツケ・市場の信認などの言葉を使う=無知)、外国(人)の利益を優先。外国の人権侵害を非難できない。外国人移民を推進。ハニトラに掛かった様な行動。

## ボランティア配達員への参加をお願いします。国民が目覚め総力を結集すれば日本は必ず復活します！

このチラシを 10 部コピーして拡散の為、出来れば遠くのお宅のポストへ投函して下さい。10×10×10…8 順で 1 億、10 人の内 3 人に実行して頂ければ 3×3…17 順で 1 億を超えます。流れを止めなければ、貴方の後に何十万もの人が続き、全国民と情報共有出来ます。バトンを次の人に渡して皆で国と国民を第一に考える真つ当な国を造りましょう！

本要約チャ		お金の		デイリー		中野剛志		どんぶり勘定		有志医師の会	
ンネル		しくみ		WILL		氏動画		事務所		記者会見	